



みくも



5月号

令和8年(2026年)5月1日
湖南省立三雲小学校
Tel 72-0025 児童数510名

タイトルをリニューアルしました

「笑顔 あふれる 三雲小」をめざして

校長 川嶋 稔彦

令和8(2026)年度が始まって早一ヶ月が経とうとしています。入学した1年生も給食が始まり、元気に登校しています。また、学習も本格的に始まり、子どもたちが意欲的に学ぶ姿も見られるようになりました。

さて今年度の学校教育目標を以下のように決めました。

**仲間を大切に、自らチャレンジし
何事も最後までやりぬく子どもの育成
～あいさつと笑顔あふれる
安心してチャレンジできる学校～**

昨年度からの変更点は、「自らチャレンジし」という言葉を付け加えたこととスローガンとして「あいさつと笑顔あふれる安心してチャレンジできる学校」を新しく加えました。子どもたちが失敗をおそれずに自らチャレンジして「自分らしさ」を出してほしいという願いがあるからです。チャレンジする姿を友だちや、先生、保護者、地域の方から認められることで「人の役に立っている」「活躍できた」「感謝された」という気持ちが芽生えます。この感情を「自己有用感」といいます。そうすると自然と自分に自信をもつことにつながります。自分のことが好きになり、さらにチャレンジするようになっていきます。この感情を「自尊心」といいます。「自尊心」が高まると自分だけでなく周りの人を大切にしようとし、そうすると周りも笑顔になりお互いが助け合ったり、協力し合ったりする集団へと変わっていきます。これを「支持的風土」と呼びます。

そうすると教室には子どもたちと先生の笑顔があふれます。先生は、子どものチャレンジをどんどん発信していきます。

子どもの良さを知った保護者様、地域の方も「笑顔」になります。三雲小学校に関わる全ての方が「笑顔」になることをめざします。(右図グランドデザインを参照)



「自己有用感」「自尊心」を高めるためには子どもが自分で考え、話し合い、実行していく力が必要だと考えています。そこで「学級会」を活性化して話し合いを充実させていきます。また、教科学習においても「ペア学習」「グループ学習」の場を多く取り入れていきます。

「学校行事」では、子どもの可能性を信じて、自主性に任せたり、主体的に行動する姿を見守ったりしながら、成長を促していきます。子どもが役割を与えられることで活躍の場を増やしていきます。子どもたちの活躍は、「校長室だより:由良谷」「学級通信」H・P 等で発信していきますのでご家庭でご覧いただき子どもたちを認めて「自己有用感」「自尊心」を高めていただきますようお願いいたします。



令和8年度 三雲小学校グランドデザイン

学校教育目標：仲間を大切に、自らチャレンジし
何事も最後までやりぬく子どもの育成
～あいさつと笑顔あふれる安心してチャレンジできる学校～

教職員の笑顔

保護者の笑顔

地域の笑顔



子どもの笑顔

発達支持的
生徒指導

支持的風土の醸成

共感的な人間関係

授業・特別活動

「私ってすごい」
「自信になる」
「認められたい」
「自分が好き」

自尊心

「人の役に立った」
「喜んでもらった」
「感謝された」
「期待されている」

自己有用感

- ① 練り合う授業
- ② 座席表の工夫
- ③ 学級会・行事
- ④ クラス会議

- ① 学級通信
- ② 校報
- ③ H・P
- ④ 保護者へTEL

子どもに任せる

否定されない

めあて・やくそく

一つのやくそく

自分らしく

あいさつ

美しい言葉

【校長ツイート】子どもたちには3つのめあて「自分らしく」「あいさつ」「美しい言葉」を心がけるように指導しています。「あいさつ」について最近、うれしいことがありました。朝、いつものように交通立ち番をしている時、中学校の保護者の方と一緒する時がありました。「今年三雲小の子どもからあいさつが元気に返ってくるようになりました」とお褒めの言葉をいただきました。めあてが浸透してきていると実感しました。